

テニス部

# 春秋会テニス部活動報告

テニス部 伏見 俊介

## 1. 新規参加者大募集

春秋会テニス部は、一緒にテニスを楽しむ仲間を募集しております。運動不足で悩む先生方、初心者の方から、学生時代に部活でなされた方、現役バリバリの方まで、和気藹々とテニスで汗をかきましょう。

また、周囲にテニスがしたいという方がおりましたら、ぜひ春秋会テニス部に紹介して下さい。

興味を持たれた方またはご紹介は、文末の連絡先までご一報願います。

## 2. テニス交流会 (神宮テニスクラブ)

7月某日、豪州の特許事務所にご勤務中の飯島先生から、「日本に戻ってきた際、テニスしましょう!」とのお誘いをいただきました。そこで、日弁テニス大会で交流のある、PA会の後藤先生、南甲の浅村先生、春秋会の出野先生にお声がけし、飯島先生が一時帰国された11月の週末にテニス交流会を開催いたしました。会場は、PA会



写真1, 2: プレイイメージ

の後藤先生のご厚意により、名門の神宮テニスクラブのインドアコートとなりました。

神宮テニスクラブは、伝統があるクラブであり、いまだに全身白基調という服装規定があります。そのため、今時のショップではなかなか手に入らない白いゲームウェアとテニスシューズを準備しなければなりません。プレー中の姿を見ますと、清潔感や統一感がありました(写真1, 2を参照)。少しだけ、ウィンブルドンの気分を味わうことができます。

さて、コートに入り、それぞれウォーミングアップを行った後は、総勢6人でダブルスの対戦を行いました。具体的には、乱数表を用いて4人がゲーム、2人が休憩として、約2時間半行いました。

実際のプレーでは、最も若手の南甲・浅村先生が、早く回転量の多いドライブショットと、ネット際に落とすドロップショットを駆使して、他のメンバーを押し込む展開となりました。

これに対して、ゲストの飯島先生は、40代半ばとは思えないほどの軽快なフットワークで、南甲でのダブルスのパートナーである浅村先生の放つドロップショットを拾いまくっておいりました。また、力強く、美しいフォームから、サービスエースを量産しておりました(写真1参照)。

一方、PA会の後藤先生、春秋会の出野先生も、南甲の浅村先生、飯島先生の鋭いサービスに食らいつき、華麗なテクニックを披露してくださいまし



写真3: オンコート

た(写真2参照)。

なお、ダブルスの試合では、2ゲームごとにコートチェンジを行うのですが、プレーしている先生方はほとんど休憩をとることなく、ストイックにプレーされていました(写真3参照)。

また、色々な組み合わせで、一人あたり6試合プレーすることができたため、会派を超えたチームプレーも多くみられました。

テニスの後は、隣接するカフェにて懇親会を行いました。そこで、ゲストの飯島先生から、オーストラリアのお土産として、全豪オープンテニスのオフィシャルタオルをいただきました。そして、テニスの話や、仕事の話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

年に2回ほど、弁理士会主催のテニス大会が開催されますが、それ以外にもこのような交流会を開催して、プレーを楽しむとともに各会派の交流も深めていければよいと考えております。

## 3. 大会日程のお知らせ

- ・2019年2月2日(土)、高輪テニスセンターにて、日弁テニス大会
- ・2019年4月20日(土)、昭和の森記念公園にて、日本弁理士協同組合テニス大会

### 連絡先

伏見俊介 (志賀国際特許事務所)  
TEL 03-5288-5811  
FAX 03-5288-5824  
fushimi.shunsuke@shigapatent.com



写真4: オフコート